

2019年11月1日

## 2020年3月期 第2四半期 決算概要

連 結

(単位:億円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	前年同期比
受 注 高	6,493	6,160	▲ 333
売 上 高	6,995	5,949	▲ 1,045
営 業 利 益	452	105	▲ 346
経 常 利 益	491	35	▲ 455
税金等調整前 四半期純利益	518	36	▲ 481
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	284	▲ 48	▲ 332
1株当たり 四半期純利益	184.23円	▲31.56円	▲215.79円

※ 各項目の金額は億円未満を切り捨てて表示しています。



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月1日

上場会社名 **株式会社IHI** 上場取引所 東名札福  
 コード番号 7013 URL <http://www.ihi.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 満岡 次郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 丸山 誠司 TEL (03) 6204 - 7065  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・マスコミ向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日 ~ 2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	594,916	△15.0	10,586	△76.6	3,591	△92.7	△4,870	—
2019年3月期第2四半期	699,507	△9.6	45,217	30.6	49,173	151.2	28,429	313.1
(注) 包括利益	2020年3月期第2四半期		△7,776百万円 (—%)		2019年3月期第2四半期		34,725百万円 (181.8%)	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△31.56	—
2019年3月期第2四半期	184.23	184.09

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	
	百万円	百万円	%	
2020年3月期第2四半期	1,648,667	366,241	20.1	
2019年3月期	1,664,529	381,692	21.0	
(参考) 自己資本	2020年3月期第2四半期	331,755百万円	2019年3月期	349,180百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00
2020年3月期	—	30.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	40.00	70.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日 ~ 2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,400,000	△5.6	65,000	△21.2	43,000	△34.6	20,000	△49.9	129.63

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	154,679,954株	2019年3月期	154,679,954株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	542,698株	2019年3月期	388,346株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	154,286,780株	2019年3月期2Q	154,315,464株

※ 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託（BBT）にかかる信託口が保有する当社株式が含まれています。

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しにのみを依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に与える重要な要素には、当社グループの事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## 当期の業績概況

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、設備投資の緩やかな増加や雇用・所得環境の改善に支えられ、総じて安定的に推移したものの、輸出関連を中心に弱さが見られました。世界経済については、米国をはじめ全体としては緩やかな成長が続いたものの、一方で中国や欧州の景気は減速傾向にあります。加えて政治面では米中貿易摩擦や、英国のEU離脱問題など不安定な状況が続きました。

このような事業環境下において、当社グループの当第2四半期連結累計期間の受注高は前年同期比5.1%減の6,160億円となりました。また、売上高についても前年同期比15.0%減の5,949億円となりました。

損益面では、営業利益は、ボイラの減収及び採算性低下や、車両過給機の欧州や中国での販売台数の減少に加え、民間向け航空エンジンの検査プロセスの厳格化に伴う減収や、プログラム費用の追加負担の影響などにより、346億円減益の105億円となりました。経常利益は、持分法投資損失及び為替差損の計上などにより減益幅が拡大し、455億円減益の35億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は、332億円減益の48億円の損失となりました。

当第2四半期連結累計期間の報告セグメント別の状況は以下のとおりです。

(単位：億円)

報告セグメント	受注高			前第2四半期 連結累計期間 (2018.4～2018.9)		当第2四半期 連結累計期間 (2019.4～2019.9)		前年同期比 増減率 (%)	
	前第2 四半期 連結 累計期間	当第2 四半期 連結 累計期間	前年 同期比 増減率 (%)	売上高	営業 損益	売上高	営業 損益	売上高	営業 損益
資源・ エネルギー・ 環境	1,419	1,642	15.7	1,946	115	1,402	△72	△27.9	—
社会基盤・海洋	541	611	12.8	607	40	681	51	12.1	25.3
産業システム・ 汎用機械	2,372	2,266	△4.4	2,099	81	1,857	21	△11.5	△73.4
航空・宇宙・防衛	1,981	1,467	△25.9	2,244	239	1,876	133	△16.4	△44.3
報告セグメント計	6,315	5,989	△5.2	6,897	477	5,817	133	△15.7	△72.0
その他	392	386	△1.5	304	4	337	8	10.8	73.7
調整額	△213	△215	—	△207	△30	△206	△36	—	—
合計	6,493	6,160	△5.1	6,995	452	5,949	105	△15.0	△76.6

## (2) 財政状態に関する説明

## ア. 資産及び負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、1兆6,486億円となり、前連結会計年度末と比較して158億円減少しました。主な減少項目は受取手形及び売掛金で578億円、現金及び預金で333億円、主な増加項目は、仕掛品などな卸資産で511億円です。

負債は1兆2,824億円となり、前連結会計年度末と比較して4億円減少しました。主な減少項目は、支払手形及び買掛金で416億円、未払費用で129億円です。一方、有利子負債残高はリース債務を含めて4,115億円となり、前連結会計年度末と比較して564億円増加しました。

純資産は3,662億円となり、前連結会計年度末と比較して154億円減少しました。これには親会社株主に帰属する四半期純損失48億円、剰余金の配当による減少61億円が含まれています。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の21.0%から20.1%となりました。

## イ. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比較して328億円減少し、597億円となりました。

営業活動に使用された資金は328億円となりました。これは主に、売上債権の減少547億円、たな卸資産の増加535億円や仕入債務の減少393億円などによるものです。

投資活動に使用された資金は396億円となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出374億円などによるものです。

財務活動によって得られた資金は416億円となりました。これは主に、コマーシャル・ペーパーの増加700億円、長期借入金の返済による支出223億円などによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

長期化する米中の対立が覇権争いの様相を呈し、両国の通商問題のみならず、アジアや新興国の投資にも影響を及ぼすなど、世界経済の先行きについて不確実性が高まっており、十分な注意が必要です。また、地政学上のリスクの高まりや国内の消費増税に対する影響などについても引き続き留意が必要と思われまます。

当社グループを取りまく事業環境については、地球規模の気候変動・大規模災害・世界人口の増加・資源の枯渇化等の深刻さを増す社会課題に対して、長期的な展望で持続可能な社会の実現に向けた取り組みが加速しています。このような環境変化および社会課題に対し当社グループは、2019年度を初年度とする「グループ経営方針2019」の下で、持続可能な社会の実現に貢献すべく、これまでハードウェア供給を中心とした事業や製品の在り方から、社会とお客さまの課題に真正面から取り組み、新たな価値を創造する方向へ大きく変革していくことを目指します。

通期の連結業績予想につきましては、本日発表の「2020年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、資源・エネルギー・環境事業における一部受注工事の採算性低下や、車両過給機の主に中国における販売台数の減少、民間向け航空エンジンの検査プロセス厳格化に伴う操業差損などの影響により、売上高は1兆4,000億円、営業利益は650億円、経常利益は430億円、親会社株主に帰属する当期純利益は200億円になる見通しです。

本業績見通しの前提としまして、第3四半期連結会計期間以降の為替水準については、105円/USドル、120円/ユーロとしています。

利益配分につきましては、前回発表の配当予想のとおり中間配当（1株当たり30円）を実施することを本日開催の取締役会で決議しました。期末配当金の予想につきましても変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、税金等調整前四半期純利益に法定実効税率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い等の適用)

「連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 2018年9月14日）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 2018年9月14日）を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	94,951	61,637
受取手形及び売掛金	377,695	319,807
製品	23,084	24,548
仕掛品	276,238	323,778
原材料及び貯蔵品	142,588	144,717
その他	77,351	90,120
貸倒引当金	△4,043	△3,797
流動資産合計	987,864	960,810
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	137,156	145,213
その他(純額)	230,238	240,750
有形固定資産合計	367,394	385,963
無形固定資産		
のれん	10,032	8,487
その他	24,052	23,297
無形固定資産合計	34,084	31,784
投資その他の資産		
投資有価証券	117,967	110,826
その他	158,596	160,613
貸倒引当金	△1,376	△1,329
投資その他の資産合計	275,187	270,110
固定資産合計	676,665	687,857
資産合計	1,664,529	1,648,667
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	290,043	248,344
短期借入金	111,785	114,442
コマーシャル・ペーパー	—	70,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払法人税等	7,384	7,520
前受金	157,546	167,721
賞与引当金	28,089	27,824
保証工事引当金	47,968	44,075
受注工事損失引当金	21,212	20,413
その他の引当金	1,079	808
その他	138,003	122,228
流動負債合計	823,109	843,375
固定負債		
社債	30,000	20,000
長期借入金	175,813	162,357
退職給付に係る負債	160,244	161,883
関係会社損失引当金	1,212	1,212
その他の引当金	1,132	877
その他	91,327	92,722
固定負債合計	459,728	439,051
負債合計	1,282,837	1,282,426



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	107,165	107,165
資本剰余金	53,410	51,777
利益剰余金	184,092	172,997
自己株式	△1,170	△1,490
株主資本合計	343,497	330,449
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,063	655
繰延ヘッジ損益	△190	△531
土地再評価差額金	5,321	5,321
為替換算調整勘定	2,808	△1,183
退職給付に係る調整累計額	△3,319	△2,956
その他の包括利益累計額合計	5,683	1,306
新株予約権	659	616
非支配株主持分	31,853	33,870
純資産合計	381,692	366,241
負債純資産合計	1,664,529	1,648,667

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	699,507	594,916
売上原価	560,680	492,970
売上総利益	138,827	101,946
販売費及び一般管理費	93,610	91,360
営業利益	45,217	10,586
営業外収益		
受取利息	519	398
受取配当金	624	638
持分法による投資利益	5,107	—
為替差益	2,470	—
その他	3,817	2,048
営業外収益合計	12,537	3,084
営業外費用		
支払利息	1,506	2,111
持分法による投資損失	—	2,419
為替差損	—	1,043
その他	7,075	4,506
営業外費用合計	8,581	10,079
経常利益	49,173	3,591
特別利益		
固定資産売却益	—	4,588
保険差益	—	1,108
関係会社株式売却益	4,187	—
特別利益合計	4,187	5,696
特別損失		
投資有価証券評価損	—	5,523
減損損失	1,560	108
特別損失合計	1,560	5,631
税金等調整前四半期純利益	51,800	3,656
法人税等	16,003	6,092
過年度法人税等	4,304	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	31,493	△2,436
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,064	2,434
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	28,429	△4,870

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	31,493	△2,436
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	404	△333
繰延ヘッジ損益	42	△170
土地再評価差額金	△12	—
為替換算調整勘定	2,234	△5,076
退職給付に係る調整額	205	369
持分法適用会社に対する持分相当額	359	△130
その他の包括利益合計	3,232	△5,340
四半期包括利益	34,725	△7,776
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,606	△9,164
非支配株主に係る四半期包括利益	3,119	1,388

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	51,800	3,656
減価償却費	25,874	27,417
その他の償却額	4,176	3,304
減損損失	1,560	108
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	478	△257
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△808	△154
保証工事引当金の増減額 (△は減少)	△4,145	△3,675
受注工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△6,433	△641
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	123	1,778
受取利息及び受取配当金	△1,143	△1,036
支払利息	1,506	2,111
為替差損益 (△は益)	448	△426
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△4,199	△19
有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益)	10	5,921
持分法による投資損益 (△は益)	△5,107	2,419
固定資産売却損益 (△は益)	1,497	△4,196
保険差益	—	△1,108
売上債権の増減額 (△は増加)	43,062	54,795
前受金の増減額 (△は減少)	△3,068	11,006
前渡金の増減額 (△は増加)	△4,136	△5,616
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△31,736	△53,584
仕入債務の増減額 (△は減少)	△29,878	△39,384
未払費用の増減額 (△は減少)	△5,464	△12,552
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△11,341	△6,079
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△5,917	△6,598
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△4,256	△1,123
その他	△550	427
小計	12,353	△23,506
利息及び配当金の受取額	1,461	1,273
利息の支払額	△1,517	△2,137
保険金の受取額	—	1,737
法人税等の支払額	△15,018	△10,243
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,721	△32,876

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	20	366
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△11,842	△4,080
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	3,421	548
有形及び無形固定資産の取得による支出	△28,724	△37,450
有形及び無形固定資産の売却による収支 (△は支出)	760	5,733
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△15	△11
長期貸付けによる支出	△371	△5
長期貸付金の回収による収入	15	175
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△2,182	△4,489
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△735	△408
その他	13	1
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△39,640</b>	<b>△39,620</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	45,348	3,111
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	—	70,000
長期借入れによる収入	33,441	10,521
長期借入金の返済による支出	△37,206	△22,381
社債の償還による支出	—	△10,000
セール・アンド・リースバックによる収入	893	21
リース債務の返済による支出	△4,258	△2,300
自己株式の増減額 (△は増加)	△3	—
自己株式取得目的の金銭の信託の設定による支出	△419	△363
配当金の支払額	△4,620	△6,163
非支配株主からの払込みによる収入	1,766	673
非支配株主への配当金の支払額	△3,099	△1,421
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1	—
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>31,842</b>	<b>41,698</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>2,540</b>	<b>△2,348</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,979	△33,146
現金及び現金同等物の期首残高	107,323	92,608
非連結子会社の連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	523	261
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>99,867</b>	<b>59,723</b>

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	資源・ エネルギー・ 環境	社会基盤・ 海洋	産業システム ・汎用機械	航空・ 宇宙・防衛	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	193,474	57,239	206,022	223,372	680,107	19,400	699,507	—	699,507
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,131	3,508	3,951	1,094	9,684	11,093	20,777	△20,777	—
計	194,605	60,747	209,973	224,466	689,791	30,493	720,284	△20,777	699,507
セグメント利益 又は損失(△) (営業利益又は 営業損失)	11,580	4,079	8,155	23,925	47,739	491	48,230	△3,013	45,217

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、検査・計測事業及び関連する機器等の製造、販売、その他サービス業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額△80百万円、各セグメントに配分していない全社費用△2,933百万円です。

全社費用は、主に各セグメントに帰属しない一般管理費です。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「社会基盤・海洋」セグメントにおいて、事業用資産の減損損失を計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては28百万円です。

また、「産業システム・汎用機械」セグメントにおいて、事業用資産の減損損失を計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては1,532百万円です。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	資源・ エネルギー・ 環境	社会基盤・ 海洋	産業システム ・汎用機械	航空・ 宇宙・防衛	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	138,584	64,789	181,743	186,805	571,921	22,995	594,916	—	594,916
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,631	3,334	4,044	795	9,804	10,799	20,603	△20,603	—
計	140,215	68,123	185,787	187,600	581,725	33,794	615,519	△20,603	594,916
セグメント利益 又は損失(△) (営業利益又は 営業損失)	△7,267	5,111	2,172	13,330	13,346	853	14,199	△3,613	10,586

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、検査・計測事業及び関連する機器等の製造、販売、その他サービス業等を含んでいます。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額79百万円、各セグメントに配分していない全社費用△3,692百万円です。  
全社費用は、主に各セグメントに帰属しない一般管理費です。

各報告セグメントに属する主な事業、製品・サービスは以下のとおりです。

報告セグメント	主な事業、製品・サービス
資源・エネルギー・環境	原動機(陸用原動機プラント、船用原動機)、ボイラ、プラント(貯蔵設備、化学・医薬プラント)、原子力(原子力機器)
社会基盤・海洋	橋梁・水門、交通システム、シールドシステム、コンクリート建材、都市開発(不動産販売・賃貸)
産業システム・汎用機械	車両過給機、パーキング、回転機械(圧縮機、分離装置、船用過給機)、熱・表面処理、運搬機械、物流・産業システム(物流システム、産業機械)、農機、製紙機械
航空・宇宙・防衛	航空エンジン、ロケットシステム・宇宙利用、防衛機器システム

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。